

人と生まれて
教えに出遇う

今年2023年は、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人が誕生されて850年、浄土真宗が開かれて(立教開宗)800年の節目の年です。ご本山東本願寺ではにぎやかに「慶讃法要」が約一か月にわたって行なわれていきます。

この法要は、人と生まれた私たちが、迷いや苦しみなどを抱えながらも、人間を照らし続ける浄土真宗の教えに出遇う、という法要です。そのような時が、しばらく続いています。(住職)

↓インスタ↓

↓存明寺 HP ↓



存明寺のHP <https://zonmyoji.jp>

存明寺 Instagram とHP 定期的に更新中!

お寺の活動や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画など、定期的に更新中です。ぜひご覧ください。

真宗大谷派のご本山・京都東本願寺での「慶讃法要」の様子 2023年春



慶讃法要の参堂列(稚児行列)4月8日



東本願寺に参詣される多くの人びと



東本願寺の境内の「子どものひろば」

親鸞 ゆさぶる言葉

畏丹の
一粒は
鉄を
変じて
金と
成す

『教行信証』(行巻)より

真珠の輝きの裏側には、アコヤ貝の流す涙がある、という。真珠は、貝に「核」となる異物が入るところから始まる。アコヤ貝はそれを吐き出すことができず、涙を流すかのようにして、体液が異物を何層にも包み込む。時は流れ、やがてキラリと光る真珠が出来上がる。

私たち人間も、思いもよらぬ「異物」と出会うことがある。親しい人との別れ、思いがけない病い、人とのすれ違い……。そして、時に涙が流れることもある。

畏丹の一粒は鉄を変じて金と成す

畏丹とは、必ず救うという仏さまの願いのこと。仏さまは、人間の苦しみや辛さ「鉄を、光り輝く存在」金へと変えていくという。都合の悪い異物が、仏さまの教えに照らされて、多くの人々の道しるべのように光り輝く、ということだろう。

アコヤ貝には、涙を流し続けた歴史があった。その流した涙によって、美しい輝きを放つ真珠が出来上がった。異物が真珠へと変じたのだ。

あなたの流す涙や苦しみは無駄ではないよ。それが真珠の輝きの裏側に隠された、私へのメッセージなのではないだろうか。



著・文＝酒井義一 ● さかいよしかず
1959年東京生まれ、真宗大谷派宗務主任。

京都東本願寺での 慶讃法要の様子



▼真宗大谷派のご本山である京都東本願寺では、3月25日から約一か月間、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年の慶讃法要が行われている。

▼コロナの影響でお参りは少ないのではないかと心配していたが、連日全国各地から大勢の参拝者が集い、お堂は満堂で、念仏の音が響き渡っているという。

▼住職も、4月4日～8日に最初の参詣をした。東本願寺にはきれいな幕がたなびき、境内には特設テントや大型バルーン、お堂には立派なお仏華などの美しいお飾りがあり、通常とは違った特別感があふれていた。

▼毎日行われる法要では、テーマソングの合唱があり、僧侶と参詣

者による正信偈の同朋唱和があった。堂内に大きな声が響き渡り、迫力を感じた。また毎回法話があり、若手の僧侶や女性僧侶が、真剣に丁寧にお話をしている姿が印象に残った。

▼来る5月5日には、「子どものつどいin東本願寺」が行われる。

東本願寺が子どもたちに開放される日。私もスタッフの一人。インターネットで視聴することができ「YouTube 東本願寺公式チャンネル」で、ぜひご視聴を!!

▼慶讃法要は、ここ存明寺でも行う予定である。人と生まれたこの私が、教えに出遇うための法要。今のところ仮の目標ながら、2025年（令和7年）11月を目指している。ご承知おきください。

受式者募集中

**3年に一度の
帰敬式**

日時 2023年12月2日（土）

10時半～13時半

場所 真宗大谷派 存明寺

費用 30,000円

※只今の申込者は9名です。

京都東本願寺での慶讃法要 写真館



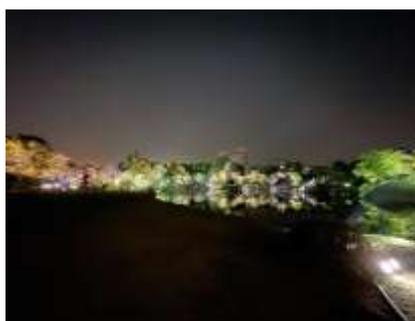
慶讃法要の参堂列(4月8日)



慶讃法要の参堂列(4月8日)



慶讃法要の参堂列(大谷派門首)



涉成園(枳殻邸)のライトアップ



結願法要での舞楽(4月8日)



東本願寺内の「子どものひろば」

2023年 お寺のひろば

5月13日(土) 14時 樹心の会

お話：慶讃法要参詣者・酒井浩美・酒井義一

6月10日(土) 14時 樹心の会

お話：小林和子さん・酒井あゆみ・酒井義一

6月24日(土) 14時 グリーフケアのつどい

7月8日(土) 11時 新盆法要

一年間の物故者をしのんで。

7月13日(木) 11時と13時 お盆法要

お話：門徒有志と酒井義一住職

8月26日(土) 午後 青年のつどい

9月9日(土) 14時 樹心の会

9月15日(金) 13時 おそうじの日

9月23日(土) 11時と13時 秋のお彼岸法要

お話：門徒有志と酒井義一住職

9月30日(土) 14時 グリーフケアのつどい

10月14日(土) 14時 樹心の会

10月25日(水) 10時 おみがきのつどい

11月2日(木) 14時 報恩講のゆうべ

3日(金) 10時 報恩講法要

お話：澤面宣了さん(長浜教区・浄願寺)

11月11日(土) 14時 樹心の会

12月2日(土) 10時半 帰敬式

12月9日(土) 14時 樹心の会

12月16日(土) 14時 グリーフケアのつどい

1月1日(月) 10時 修正会

ハレの会・こども食堂・子育てサロン・聖典
輪読会も、順調に開催中です。

報恩講法要 通常に戻して開催します

日時 2023年11月2日(木) 2時〜

11月3日(金) 10時〜

場所 真宗大谷派 存明寺

法話 澤面宣了さん(長浜教区浄願寺)

2日 報恩講法要・記念法話・囲む会

3日 記念法話・報恩講法要・懇親会

※久しぶりの住職方とご門徒衆の同朋唱和

※澤面宣了さんによる法話、楽しみです。

※コロナ前に戻した4年ぶりの報恩講です。

長男夫婦が結婚式と披露宴を

コロナの影響で様子を見ていた長男夫婦の仏前結婚式と披露宴ですが、去る4月2日、満開の桜に見守られながら、存明寺と目黒八芳園において執り行なわれました。存明寺の新メンバーは「酒井瑠美」と申します。あらためまして、皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。



【あとがき】

▼右のつつじは、存明寺の墓地の一番奥に人知れず咲いているハート形のつつじ。発見&撮影したのは、新婦の瑠美さんでした。私なら素通りしてしまうのに。さすがは新婚さんです。

▼この頃の緑は、まことに美しいですね。還暦を過ぎたからでしょうか、特にそのように感じます。振り向けば、そこに、生きる力があらわれている。そんな緑を見て、次の言葉を思い出しました。

▼「わたしたちは、生きようとするいのちに囲まれた 生きようとするいのちである」(アルベルト・シュバイツァー)私の中にもまた、生きようとする力が胎動しているのです。外は緑。さあ、この現実を、生きていこう!!



東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一(釋諦信)

TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880